

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 長寿課				内線等	2122
事務事業名	徘徊高齢者探知機家族支援サービス事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	蒲郡市徘徊高齢者探索サービス事業実施要綱					Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	徘徊がみられる認知症高齢者を介護している家族等に
手 段	徘徊した場合に早期に発見できる徘徊探知機を貸与して
想定する成果	居所を家族が探知し、事故を未然に防止することで介護負担の軽減を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
利用者	4人	8人	13人
事業費	34千円	85千円	295千円
要介護認定者	2,408人	2,458人	2,500人

成果指標名	利用率	一人当たりの年間事業費
成果指標の説明	利用者 / 要介護認定者 × 100	事業費 / 利用者

事業の進捗状況 （ 介護保険事業特別 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		0.17%				0.33%				0.52%			
成果指標		8,500円				10,625円				22,692円			
事業費	事業費	34				85				295			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	812				866				1,080			
財源内訳	国	14				34				120			
	県	7				17				60			
	市債												
	その他	6				16				56			
	一般財源	785				799				844			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	1	目標とする成果に達していないが、増加傾向にある。
経済効率性	2	2	2	2	利用に対する費用は低額であり、効率性がある。
事務効率性	2	2	2	2	業者と単価契約に基づき利用者へ機器貸与しており効率的に執行している。
必要性	3	3	3	3	介護支援として認知症の徘徊をする高齢者へのサービスとして実施している。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	利用者の要望を業者に伝えている。
合計	11	9	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	徘徊が見受けられる高齢者を介護する家族の介護負担を軽減できることもあり必要なサービスである。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
徘徊が見受けられる高齢者に携帯させるため、軽量でコンパクトな機器の開発を業者に促している。
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

**現状維持**

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

